

十勝組だより

第20号

発行所
音更町西然寺内
十勝組々長事務所
発行人
白木 幸久
題字
揮毫 住職 氏
妙覚寺 曉暢
脇谷

副組長挨拶



十勝組副組長
御幸 誓見

謹啓、慈光のもと、日々ご健勝にてご法義ご相続のこととお慶び申し上げます。

さて、永く休止中でありました組報の発行を、伝道広報部の皆様のご尽力により企画して頂くこととなりましたこと、感謝とともにお慶び申し上げます。

十勝組の活動、基推委の活動を、寺院、門信徒の皆様にご知って頂くこととなり、それにより今まで一部のみの参加になりがちであった活動も更に広く深くなつて頂けるのではないかと期待しています。僧侶、門信徒が一体となり、活気のある組織、行動の原点にと念じてご挨拶とさせていただきます。

「十勝のお坊さんの一員として」



十勝組副相談員
石田 智秀

幼少時から家族や門徒さん方からは何となく「お寺の子」として育てられておりましたし、やがて自我が強くなつてからも時に多少の反発はしつつ、心のどこかで「寺院後継者」の心づもりをしておりました。

とはいえ、お寺の運営に実質的に関わることの出来る年齢になってからも、お寺とは夏と冬の帰省時にのみ関わるような不作法な生活を十五年間も続けておりました。しかし二〇〇五年の住職課程を最後に京都との縁もとうとう尽き、八月に十勝に戻って参りました。こちらの生活にもすこし慣れ、

また、いわば試用期間中の布教使として道内を巡回させていただくようになり、少しは「十勝のお坊さん」っぽくなつて来たかもしれないと思ひ始めます。荷が勝ちすぎなのは仕方ありません。

少しでもその名に追いつくよう精一杯励んで参ります。どうか、ご指導よろしくお願い致します。

合掌

「教区会におもむいて」



教区会僧侶議員
梅原 了國

十勝の地にも日増しに春の訪れが感じられる頃となりました。

私こと、昨年四月に教区会議員職を仰せつかつてから早一年、各寺住職様を始め多くの方々からの指導を賜りながら今日を迎えさせていただきました。心より御礼申し上げます。

教区会におもむいて、組長時代とは責務の異なる立場より関わり思うことは、教区の各種事業に對

しての内容を踏まえながらの予算・決算審議の難しさ、又、私どもに深く関わる各種区令の検討審議、そして、本山と教区、組、各寺院に関する案件、諸問題の対応審議等、あらためてその内容が多岐にわたり重要課題の多いことを痛感しております。その責務の重さ身に引き締まる思いです。

現在、教区には各寺院に関わる本山および教区の賦課制度等の問題、過疎の問題、差別と平和の問題、そして、来る平成二十三年四月より「世のなか安穩なれ」のスローガンのもと修行される親鸞聖人七五〇回大遠忌に向けての諸課題等、私ども宗門全体の基幹運動計画にも深く関わる諸問題が山積しております。

今後とも、皆様のご指導ご指摘を頂きながら諸課題を学びつつ、組と連携のもと、教区に於いて発言していく所存です。教区の動きについても組会等を通じ、出来る限りお伝えしてまいりたく思っております。これからもお導きの程、宜しくお願い申し上げます。

合掌

「今、思うこと」


 教区会門徒議員
 鳥本 順司

早いもので、十勝組から選出されて北海道教区の議員になり二期目になります。一年に二回程会議がありますが何とか続けられております。

会議の内容は、国・道・市町村の議会と同様で、予算・決算・人事・規約の改廃等が主で二月は親鸞聖人の七五〇回大遠忌法要委員会の設立があり委員が決まりました。

私達が信じる宗教は不変でありますが、現代のような科学文明の発達した時代になっても、私達の周囲には多くの迷信や俗信がはびこっています。古いやまじない、神がかりなど日本の各地で未だに人々の心を支配しており、そうした現象は無数といつてよいほどあります。

多くの人はそれを宗教だと思つていますし、そういう人々の気持ちを利用して不合理なことをいう宗教らしきものも後を絶ちません。

日本人固有の宗教的心情は祖先崇拝であるといわれています。それは生まれつき天性に繋がるもので、どんなに文明が発達してもたやすく無くならないものだと思います。

これは誰に教えられたものでなく、日本人として生まれたときからもっているからでしょう。仏教のような世界宗教といわれるものは、釈尊のような優れた宗教的境界に達した人が開かれたもので、その導きによって人々は生まれたときから持っている迷いから目覚めるのであって、その目覚めによつて初めて私達は迷信や俗信から離れることが出来るものだと思います。

現代人は合理的な判断により誤った考え方を否定するのが普通ですが、ただそれだけでは迷信や俗信から解放されることは困難です。というのはそれが人間の生まれつきの心の在り方に結びついているからではないでしょうか。



「テレホン法話集」の

刊行について

十勝組研修部長

脇谷 曉融

研修部・広報部において、二〇〇七年度の計画の一つであった十勝組・帯広別院テレホン法話集を発刊することになりました。この企画は、十数年前からありましたが、様々な事情を抱え実現することができず、このたび念願の完成がまもなくとなりました。

「テレホン法話」は一九八四(昭和五十九)年七月、当時の時代に先駆け、視聴覚伝道の一環として、十勝組と帯広別院の共催で始まり、いつでも在宅で法話が聞けるシステムの先鞭をつけることに成功しました。

その後、携帯電話やインターネットが急速に普及する中、たとえ少数にでも肉声で語りかけるスタイルを維持したいという声と、残されていく原稿を一つの集大成として記録に残したいという思いがありました。

二〇〇〇年に、十勝組がホームページの開設にあたり、「法話のページ」を設け、テレホン法話で

用いた十勝組各位の原稿を再掲載し活用していましたが、冊子化するにあたっては、この前後の法話から掲載することが、最適であろうとの判断に至りました。

この法話集は以降、順次シリーズとして刊行していく計画でいます。お手に取られるみなさまの「さらなるご縁」となりますことを念願しております。

「お寺を子どもの

居場所」に

北海道教区

キッズサンガアドバイザー

十勝組 藤本 実円

「お寺を子どもの居場所」に合言葉に、今まで寺族僧侶が中心となつていた少年教化の活動を、門信徒の協力を得ながら共に進め、寺院を活性化し本来のお寺の在り方に立ち返つてゆく活動として、親鸞聖人七百五十回大遠忌宗門長期進行計画の「次代を担う『人』の育成」の一環とする事業がキッズサンガです。

では、キッズサンガによる寺院の活性化とはどのようなことかと申し上げますと「お寺」という空間に、子どもがいて当然」という姿になつていくこうとするのがキッズ

サングラです。

さて、お寺に子どもたちを集めると、ゲームに仏参となりがちですが、まず、本堂に上がつて手を合わせていただくことを第一とします。

そして、その活動を住職、寺族に限らず、お寺の婦人会からおばあちゃん、お母さん、青年会からはお兄さん、お姉さん、壮年会からはお父さん、総代会からはおじいちゃんにいたるまでご縁のある方全てのご協力をいただき、子供会はもとより、普段お寺と関わりのない子どもたちにも呼びかけて「阿弥陀様とのご縁づくり」をすることで、参画する大人たちも共に育つてゆこうとするものです。



ご講師 藤本実田氏

組活動報告

十二月六日

仏婦若婦人研修会

十二月六日、帯広別院講堂において十勝組仏教婦人会連絡協議会第十七回若婦人研修会が開催されました。組内より八十一名が参加し、豊頃町大正寺住職高田芳行氏を講師に午前中は「世のなか安穩なれ：み仏と共に生きる」をテーマに講義が行われ、午後からはなごやかな空気のもと、クイズ形式で浄土真宗のみ教えについて学びました。



第17回若婦人研修会

二月五日・七日

真宗成人講座



第35回真宗成人講座

二月五日から七日まで二泊三日間にわたり、十勝川温泉観月苑において第三十五回真宗成人講座が開催されました。行信教校より日置宗明氏・天岸浄圓氏をお招きし、浄土真宗の經典から『仏説観無量寿經』『仏説阿弥陀經』についての講義をいただきました。参加者は組内はもとより熊本・広島など道内外から四十二名にのぼりました。

二月十一日・十二日

総代会壮年会合同一泊研修会

平成十九年度の十勝組総代会・壮年会の合同一泊研修会が二月十一日から十二日の二日間にわたって十勝川温泉観月苑を会場に盛大に行われました。

今年は組内から一〇一名の参加のもと、北海道教区教務所長の藤井純恵氏を講師に迎え、親鸞聖人七五〇回大遠忌のテーマである『世のなか安穩なれ』を講題に、図解を交えてご本尊のお姿の意味などについて学習しました。



十勝組総代会・壮年会合同一泊研修会

帯広別院百年を祝う

大谷光真ご門主様がご親修

帯広別院の創立百周年記念慶讃法要が平成十九年十一月十一日、ご門主様がご親修により執り行われました。

厳しい自然環境と激動の時代の中で十勝開拓に取り組んだ先人の方の心の拠り所として創立された北

の法城の佳節を祝う法要には、十勝をはじめ崇敬区域の根室、釧路、北見など道内各地から僧侶、門信徒ら約千三百人が群参しました。

法要をご親修されたご門主様は「仏法をたよりに厳しい人生を生



帯広別院創立100周年記念慶讃法要

き抜かれた先人らの思いを大切に」とと説かれ、参詣の門侶は「ご親教をいただく身の幸せを慶び、一同力を合わせて別院の護持発展の心の支えにしたい」とこの度の勝縁を機に念仏繁盛への精進を誓いました。



ご親修の大谷光真ご門主様

教区活動概報

- 8日 少年連盟理事会
- 29日 キッズサンガ説明会
- 9日 基推委常任委員会
- 10日 少年教化サポーター研修会
- 24日 法式研修会(帯広)
- 2日 北海道教区布教大会(釧路)
- 13日 常備会
- 28日 組長会 護持口数調整委員会
- 9日 教区実演布教研修会
- 10日 キッズサンガ推進に關わる打合せ会
- 17日 臨時教区会・組長会
- 27日 基推委常任委員会
- 30日 基推委常任委員会
- 30日 31日 組長・相談員研修協議会
- 20日 キッズサンガ事務局会議
- 1日 連研履修者・門徒推進員研修会(帯広)
- 10日 キッズサンガ講演会準備会
- 24日 基推委常任委員会
- 25日 組長会
- 26日 教区会

訃報

(平成十九年八月以降)

平成十九年八月二十日 玄誓寺二世坊守

太田 章子様 真楽院釈尼曉蓮 行年八十三歳

平成十九年九月九日 浄教寺二世坊守

池上 安子様 妙音院釈尼宗純 行年九十四歳

平成十九年十一月二十六日 大船寺初代坊守

三浦可寿枝様 大願院釈尼清泉 行年九十四歳

永年のご苦勞に対し、厚く御礼申し上げますとともに、深く哀悼の誠を表わします。 台 掌

十勝組活動概報

- 青少年部 12月6日 部長研修会開催
- 寺族婦人部 2月29日 総会と新年会
- △七味会
- 研修部 3月1日 十勝組連研修了者の集い
- 道遠広報部 8月10日 法話集の発刊
- 道遠広報部 8月10日 連研開催にむけて
- 道遠広報部 8月10日 2回の組報発行
- その他 9月27日 ホームページの開設
- その他 9月27日 第12回お祝いの会
- その他 9月27日 十勝組常例協議会設置準備会
- その他 9月27日 真宗協会と特老施設「慈恩の里」視察

編集後記

振りかえって、三人の前坊守さんとの別れ、また帯広別院等二件の御慶事もあり悲喜こもごもの一年でした。今後とも一年間に二回のペースで発刊の予定です。どうか御協力の際、また御指摘のことお願い致します。

☆宗 門 目 標 御同朋の社会をめざして
☆スローガン ともにいのちがやく世界へ

テ レ ホ ム 法 話 (0155)21-7777
十勝組ホームページ http://www.tokachiso.com
北海道教区ホームページ http://www.hokkaidohongwanji.jp
〔IDは寺院番号6ケタ、パスワードは教区時報第194号に各寺同封〕